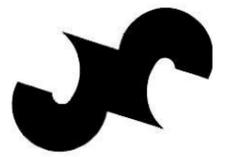


工業部会 通信



相模原商工会議所
工業部会発行
編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)2021
プリントしてご自由にお読み下さい。



谷津建設 龍源院本堂の工事

伝統と格式ある 長寿命建築視察

工業部会有志企業など

新たな可能性見いだす



建て替え中の龍源院の外観



伝統工法を活かした建築工事



建設中の龍源院本堂の内部



この日集まった参加者たち



総重量140トンにもなる屋根



熱心に見学する参加者たち

工業部会に所属する有志企業などは12日、建て替え工事が進められている龍源院本堂（座間市入谷）の視察会を開いた。龍源院本堂は1927年（昭和2年）に建てられた曹洞宗の寺。施工を担当しているのは建設部会の谷津建設。現代の建築技術と伝統工法を融合させて進めている。市内産業界の関心も高く、工業部会の所属企業を中心に計25人が参加した。

宮大工の伝統を継承する鶴工舎（栃木県塩谷町）とともに建設にあたり、昨年7月に着工し、今年11月の完成を目指している。曹洞宗水上山龍源院は座間市入谷1丁目にある。敷地面積約749平方メートル、建設中の本堂は総床面積278平方メートルになる。谷津建設の谷津弘社長は「後世に長く語られるような、伝統と格式を持った長寿命建築を目指している」と強調した。社寺建築の最大の特徴とされる屋根部分には、平瓦を1万2200枚、「丸瓦」6500枚を使用。瓦の総重量で140トンにもなるという。これらすべてを木造で支えている。担当者によると、屋根を支えている構造部分は800年前から受け継がれている工法を採用しているという。建築物全体も釘はほとんど使っていない。谷津建設では基礎工事の部分に現代技術、本堂には本格的な伝統技術を駆使。「記録と記憶に残る建物になる」（谷津社長）としている。一方、この日の参加者たちは工業系をはじめ、ビルメンテナンスマネージャー、不動産、鍵販売業者など、異業種企業が広く集まっていた。各参加者とも、現場担当者の説明に熱心に耳を傾け、同分野に対する関心の高さをうかがわせた。参加した工業部会・KIZUNAプロジェクトの那須隆仁委員長（三恵エンジニアリング専務）は「この建築物は、究極の一品物」といえる。ものづくりの世界の人間が、こうした技術を実際に目にすれば、絶対により刺激になると話した。工業部会の松岡康彦副部長（湘南デザイン社長）は「このような建築分野でも、さまざまな部分で市内企業の技術が活かせると思った。今回の視察で新しい可能性も見えたと述べていた。」



視察会で説明する谷津社長

あなたと、暮らしと、つながって。

Always, With your life.

しあわせや暮らしのカタチは、人それぞれだから。
小田急不動産は、お客さまと一緒に描いていきます。

不動産のご売却・ご購入・有効活用は
お近くの小田急不動産へお気軽にご相談ください。

町田店 〒194-0021 町田市中町1-1-15 マリービル
0120-091-391
営業時間 / 10:00~18:30 ■定休日 / 水曜日 第1・3火曜日
Tel: 042-722-5811 ■Fax: 042-728-3917
E-mail: machida@odakyu-fudosan.co.jp

相模大野店 〒252-0303 相模原市南区相模大野3-8-1 (旧相模大野ステーションスクエア) (併売中)
0120-097-095
営業時間 / 10:00~20:00 ■定休日 / 水曜日
Tel: 042-766-0909 ■Fax: 042-766-0990
E-mail: sagami@odakyu-fudosan.co.jp

小田急不動産は、
今年50周年を迎えます。



国土交通大臣免許(12)第1168号(更新手中)・(一社)不動産協会員
小田急不動産
(一社)不動産流通経営協会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-4-1 小田急西新宿ビル